

2019年3月期第1四半期 決算説明資料



2018年8月10日
株式会社NEW ART

証券コード:7638

1. 2019年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2019年3月期 連結業績予想及びその進捗
3. 2019年3月期 第1四半期トピックス及び
第2四半期以降の取り組み

1. 2019年3月期 第1四半期 決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想及びその進捗

3. 2019年3月期 第1四半期トピックス及び 第2四半期以降の取り組み

1

2019年3月期 第1四半期 連結業績

売上高 3,892百万円
営業利益 168百万円

2

ジュエリー事業、アート事業、新規事業が好調に推移

3

上期連結業績予想に対し、売上高は54%、営業利益は40%の進捗

売上高	3,892百万円	(前年同期比	+271百万円	+7.5%)
営業利益	168百万円	(前年同期比	△84百万円	△33.3%)

売上高

ジュエリー事業に加え、アート事業、新規事業が好調に推移したことにより、前年同期比271百万円増、7.5%増

営業利益

エステ事業の一時的な売上減による利益の減少などにより、前年同期比84百万円減、33.3%減

(3)2019年3月期 第1四半期 業績(連結)

〔単位:百万円〕

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	3,621	3,892	+271	7.5%
売上原価	1,487	1,698	+210	14.2%
売上総利益	2,133	2,194	+60	2.8%
販売管理費	1,880	2,025	+144	7.7%
広告宣伝費	465	582	+116	25.1%
給与手当	422	443	+21	5.0%
営業利益	252	168	△84	△33.3%
経常利益	236	154	△82	△34.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	95	69	△25	△27.0%
営業利益率	7.0%	4.3%	△2.7pt	—

ジュエリー事業 増収増益

- 国内は引き続き好調
 - ・テレビCMやWEB広告等の集客強化により来店客数が増加
- 海外は前期にオープンした台湾の売上が新たに加わる

エステ事業 減収減益

- 売上拡大、利益率の改善を図るため、顧客層の見直し、商品構成の変更、化粧品事業への取り組みを推進することで、業績の回復を目指す

アート事業 増収増益

- 絵画取引が好調に推移
- 新規事業として国内外でアートファンドの立ち上げを計画中

その他事業 増収増益

- IT関連事業:ブロックチェーン技術を利用した仮想通貨事業を推進
- スポーツ関連事業:ゴルフシャフトブランド「CRAZY」の認知拡大を目指す

(5)セグメント別業績②

[単位:百万円]

		2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減	増減率
ジュエリー 事業	売上高	2,305	2,558	+252	10.9%
	セグメント利益 ^{※1}	279	394	+114	41.1%
エステ 事業	売上高	819	621	△197	△24.1%
	セグメント利益 ^{※2}	12	△118	△131	—
アート 事業	売上高	387	579	+191	49.4%
	セグメント利益	11	21	+10	96.0%
その他 事業	売上高	108	134	+25	23.5%
	セグメント利益 ^{※2}	△32	7	+39	—
調整額	売上高	△0	△0	—	—
	セグメント利益 ^{※1※2}	△17	△136	△118	△660.8%

※1 ジュエリー事業の2019年3月期第1四半期のセグメント利益は、2018年3月期第1四半期に含んでいた本社管理費用が2017年9月の持株会社化に伴い含まれておりません。同費用は調整額に計上。

※2 セグメント損失は△で記載しています。

(6)貸借対照表(連結)の概要

[単位:百万円]

	2018年3月期	2019年3月期 第1四半期	増減	変動要因
流動資産	9,735	9,670	△64	◆流動資産 ・現預金△515 ・受取手形及び売掛金+441
固定資産	4,116	4,126	+10	◆固定資産 ・建物及び構築物+122 ・建設仮勘定△113
資産合計	13,852	13,797	△54	◆流動負債 ・短期借入金+181 ・前受金+212 ・未払法人税等△319
流動負債	5,962	6,042	+80	◆固定負債 ・長期借入金△92
固定負債	1,234	1,130	△103	◆純資産 ・当期純利益による利益剰余金+69 ・配当金支払による利益剰余金△97
負債合計	7,197	7,173	△23	
純資産	6,654	6,623	△31	
負債及び純資産合計	13,852	13,797	△54	自己資本比率 48.0%

1. 2019年3月期 第1四半期 決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想及びその進捗

3. 2019年3月期 第1四半期トピックス及び
第2四半期以降の取り組み

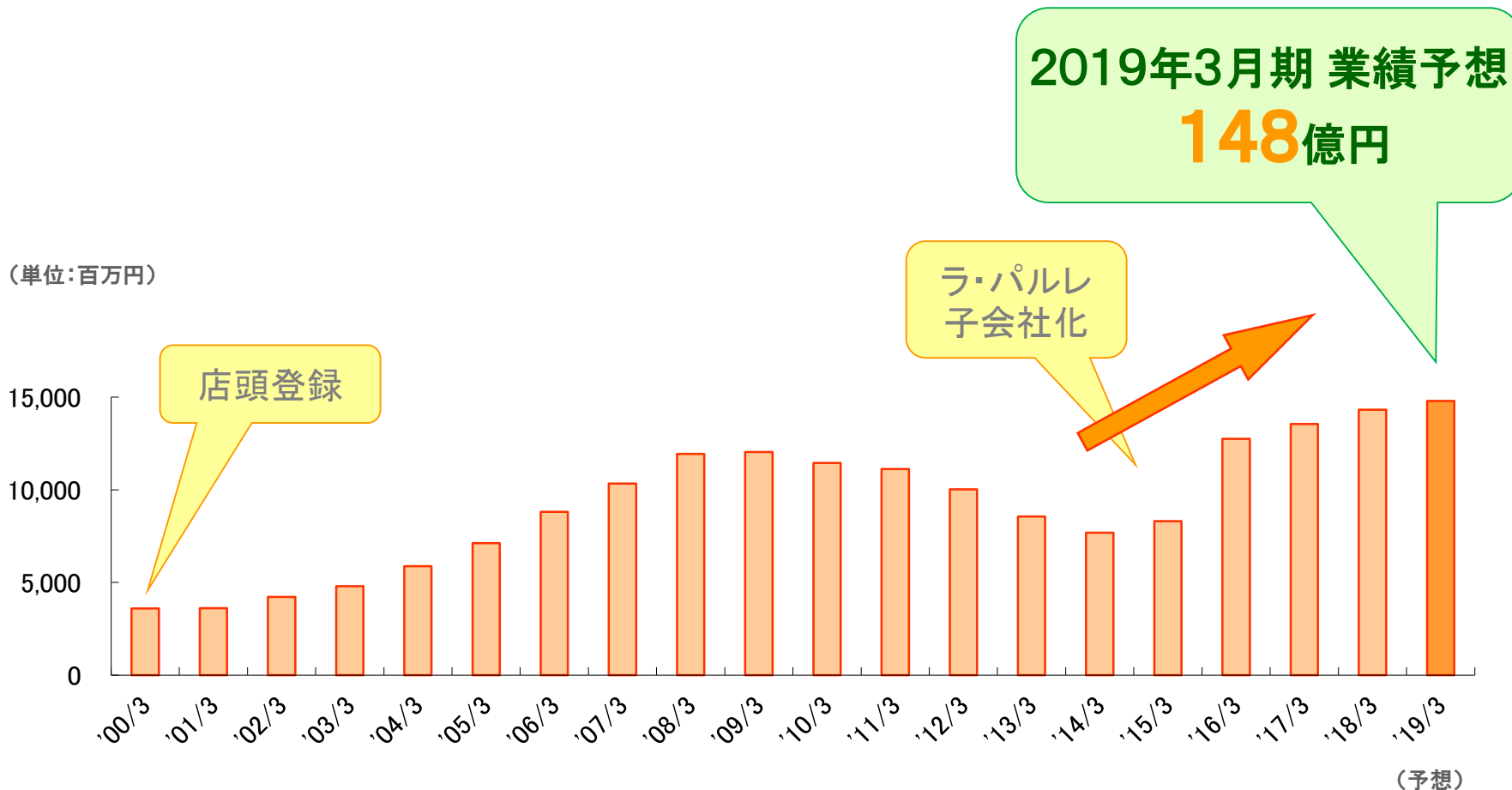
(1) 連結業績予想及びその進捗

連結業績予想 第2四半期累計に対し、概ね順調に推移
売上高は54%、営業利益40%の進捗

[単位:百万円]

	2019年3月期		
	第1四半期	第2四半期累計 連結業績(予想)	進捗率
売上高	3,892	7,200	54.1%
営業利益	168	420	40.1%
経常利益	154	400	38.5%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	69	190	36.7%

2019年3月期連結売上高は4期連続過去最高更新へ



1. 2019年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2019年3月期 連結業績予想及びその進捗
3. 2019年3月期 第1四半期トピックス及び
第2四半期以降の取り組み

(1)ジュエリー事業①

国内展開

統合店の推進、積極的なマーケティング活動、ブランドイメージの強化による更なる業績拡大

海外展開

集客力・販売力の強化による売上拡大

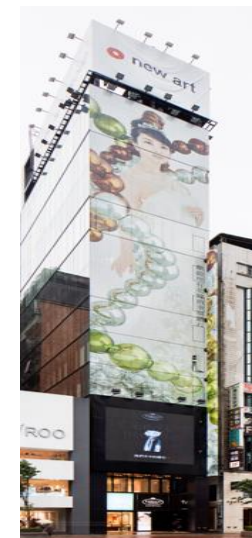
<新統合店舗>

銀座ダイヤモンドシライシ大阪本店
エクセルコ ダイヤモンド大阪店
〔オープン日〕2018年6月30日

銀座ダイヤモンドシライシ町田マルイ店
エクセルコ ダイヤモンド町田マルイ店
〔オープン日〕2018年7月20日



▲ 大阪本店・統合店舗



▲ 台湾・台北本店

ブランドイメージの強化に向けた「銀座ダイヤモンドシライシ」新CM
が2018年5月28日(月)より全国にて公開

映画監督 **行定 勲**が描く男性視点のプロポーズ
俳優 **三浦 貴大** × 女優 **土村 芳**

この輝きと、生きていく。

行定勲監督が描く、ブランドムービー公開



▲ 新CM「彼は走っている」編

エステ事業

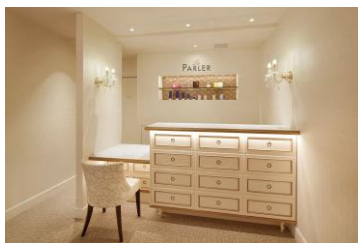
La
PARLER
ラ・パルレ

中期的な売上拡大・利益率改善を
図るため、引き続き構造改革を推進

- 顧客層の見直し
- 商品構成の変更
- 化粧品事業への取り組み



黒字化を目指す



アート事業

アート×金融
アートファンドの立ち上げ
計画



早期実現を
目指す

NEW
ART
LAB

Appendices

中期経営計画

(2019年3月期～2021年3月期)

(1)中期経営計画 数値目標

2021年3月期 売上高165億円、営業利益16.5億円を目指す

<連結数値目標>

[単位:百万円]

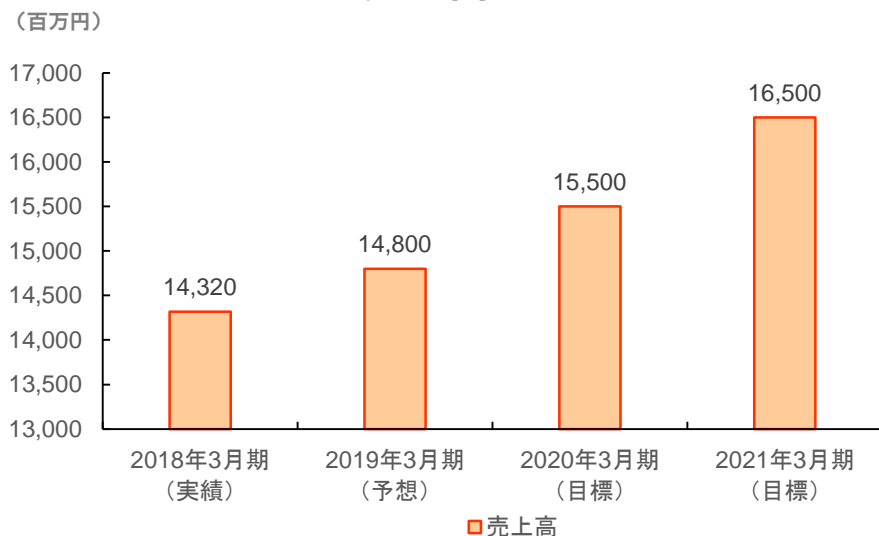
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	(実績)	(予想)	(目標)	(目標)
売上高	14,320	14,800	15,500	16,500
営業利益	814	1,250	1,450	1,650
経常利益	725	1,210	1,400	1,600
当期純利益	94	680	850	1,000

(2) 中期経営計画 概要

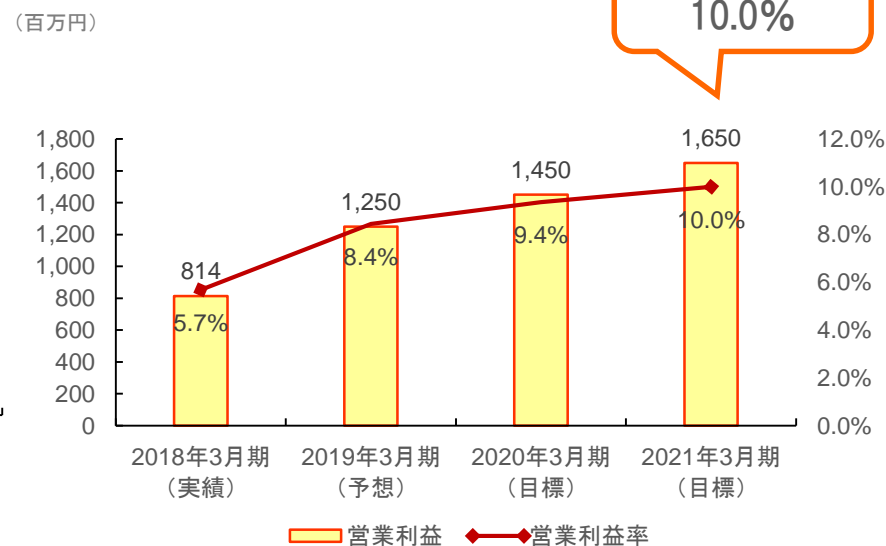
営業利益は2018年3月期をボトムにV字成長16.5億円、
営業利益率10%を目指す

- ▶ 国内既存事業の更なる拡大
- ▶ 海外展開の推進
- ▶ 新規事業の育成
- ▶ 利益を生み出す筋肉質な組織構築を図る

売上高



営業利益



株主還元

[基本方針]

- ・将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を優先し、株主利益及び企業価値の最大化に努める
- ・株主還元については、企業価値向上による株価上昇と剰余金の配当等によって総合的に実現し、中長期的に総還元性向30%を目指す

期末配当金

2018年3月期

30銭

2019年3月期

30銭（予想）



IR情報に関するお問い合わせ

株式会社 NEW ART IR戦略部

Tel. 03-3567-8098 Fax. 03-3567-8092

(注)本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報にもとづき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。したがって、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。